

筑豊小児科医会会報

Vol.212 2024.9



Contents

- ◇ 今月のトピックス（皮膚科 部長 井手豪俊）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2024年7月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（皮膚科 部長 井手豪俊）

飯塚病院皮膚科は基幹病院の皮膚科として、外科的手術や生物学的製剤などの新興の薬剤を使用した治療を業務の中心に据えております。若手の医師も多く、切磋琢磨していきながら地域医療に貢献することが当科の目標です。

当科の小児患者さんは、外用薬ではコントロール困難なアトピー性皮膚炎や、石灰化上皮腫や脂腺母斑の切除といった手術症例の患者さんが多数を占めます。アトピー性皮膚炎はご存知の通り、今まで太刀打ちできなかった難治症例であっても寛解が見込める新規の作用機序の薬剤の台頭が目覚ましい領域です。気管支喘息をはじめとしたアレルギー疾患の発症を抑えるためにも、小児期の早期の



の治療が望ましくかつ重要と考えられますので、適応症例には積極的にこういった薬剤の導入を行っております。手術に関しては、小児は基本的には入院の上、全身麻酔下での手術を行っております。当該患者さんがいらっしゃったら、是非当科へご紹介ください。逆に、症状が落ち着き、当科での治療の必要性がなくなった患者さんについては、病診連携の理念から、積極的に紹介をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

当院の小児科の先生には、検査時に鎮静を要したり、入院の上全身管理が必要な小児の患者さんの診療でお世話になることが多いです。逆に、小児科の先生からは皮膚科的な見解を求められたり、皮膚生検などの侵襲的な検査を依頼されるという形で関わらせて頂いております。患者さんのためにも、これからも協力して診療にあたりたいと考えております。

少子化が顕著だからというわけではなく、また決して小児科だけが特別というわけでもないのですが、小児の健康を守る小児科の先生方には頭が下がる思いです。当科としても微力ながら、可能な限り先生方のお仕事のバックアップをさせていただきます。

最後になりましたが、当科の予約の取りづらさなどではご迷惑をおかけしているかもしれません。しかし、基幹病院としての役割を果たせるような診療体制を構築していっているところですので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。今後とも温かい目でご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

研修医のご紹介

● 初期研修医 1年目 さとうともこ 佐藤智子

初期研修医 1年目の佐藤智子と申します。東京で生まれ育ち、穏やかかつ活気あふれる飯塚病院の雰囲気惹かれて筑豊地域へ参りました。

小児科では患者さんへの治療はもちろん、保護者の方への接し方や退院後のご家族の生活を見据えた医療の提供を学びたいと考えております。実り多き5週間にできるよう、笑顔で日々精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1 年目 ^{どいこうき} 土井康熙

初期研修医 1 年目の土井康熙と申します。8 月と 9 月に飯塚病院の小児科にてローテーションさせていただきました。生まれ育った福岡県の方々にお役に立ちたいと思い、初期研修に励んでおります。

小児科では、毎日の病棟業務において所見や検査結果だけでなく患者さんやそのご家族の方々の様子やお話に目を向けて、医療のあり方や患者さんとの向き合い方を学んでいけたらと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



小児科関連勉強会のご案内

■ アレルギーマーチについて考える会 —第 359 回 筑豊小児科医会勉強会—

●日 時：2024 年 9 月 12 日（木）18:50～

●形 式：ハイブリッド開催（zoom 配信）

●会 場：のがみプレジデントホテル 2 階 日光の間

講演 1 19:00～19:20

「舌下免疫療法に活かす動機づけテクニック～こどもの意向を尊重した意志決定支援～」

飯塚病院 小児科 診療部長 田中 祥一郎

講演 2 19:20～20:00

「アレルギーマーチの視点から考えるアトピー性皮膚炎の治療戦略」

独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 小児科 医長 増本 夏子先生

* 会場参加をご希望の方は、9 月 5 日（木）までにお申し込みください。

* 詳細につきましては案内状をご確認ください。

■ 第 47 回 筑豊感染症懇話会（第 360 回 筑豊小児科医会勉強会）

●日 程：2024 年 10 月開催

■ 第 51 回 筑豊周産期懇話会（第 361 回 筑豊小児科医会勉強会）

●日 時：2024 年 11 月 13 日（水）19:00～

■ 第 362 回 筑豊小児科医会勉強会

●日 程：2024 年 11 月 27 日（水）

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2024年7月》

- 入院患者数 159人 ●外来患者数 1,105人 ●救命救急センター受診者数 114人
- 新生児センター入院患者数 13人 ●分娩件数 33件 ●手術件数 9件
- 主要疾患数（退院患者数：138人）

肺炎・気管支炎	54	痙攣及びてんかん	12	新生児呼吸障害・心血管障害	7
低出生体重児	6	急性胃腸炎	4	高ビリルビン血症及び黄疸	2
喘息	1	その他	52		

●7月紹介件数（五十音順）

小児科：195件	
飯塚市立病院	17
弥永内科小児科医院	
こどもクリニックもりた	12
いづかこども診療所	10
津川診療所	
平野医院	9
まつなり医院	

小児外科：12件	
こどもクリニックもりた	4
あざかみこどもクリニック	2
ささきこどもクリニック	
嘉麻赤十字病院	1
川崎町保健センター	
田中クリニック	
福智町役場 健康子育て支援課健康係	

AI-CAP 通信

児童養護施設 施設長の花田悦子さんの講演が、2024年8月に直方市主催でありました。

児童の施設保護は養育環境が適切でないと判断される場合、3号措置（児童福祉法 第27条第1項第3号）として実施され、虐待防止委員会の活動の一つの終着点でもあります。ただ児童の人生はもちろんその後も続いていきます。そのような児童保護後の児童の現状・対応・課題について教えていただきました。

丁寧な養育により、健やかに暮らしている児が多数で、保護施設に来院した保護者に「私たちと一緒に子育てをしていきましょう」とお声かけをしながら対応できているケースもあります（福津市広報誌「広報ふくつ2018年No167」）。しかしながら、「私はなぜここにいるの？親と暮らせないの？」と疑問をもつ児、七夕の短冊に「はやくたいしょできますように」と書く児もいて、児の意に沿わない形での保護には問題点が多いことを教えていただきました。



福津市広報誌
2018年No167

このような児の思いや意志に沿った対応（アドボカシー）は、医療現場においても課題として言われており、2022年に小児科学会(JPS)においても、こどもアドボカシー・ワーキンググループが立ち上げられておりますし、同時期に子どもアドボカシー学会の設立があり、当院の田中祥一郎先生も2023年に講演会を持たれています。

どのように一般診療やCAP（虐待防止活動）に取り入れていくかが大きな課題ですが、小児科としても真正面から取り組む必要があると考えます。

小児虐待防止委員会 委員長 齊木 玲央

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

今月も映画の話を。『インサイド・ヘッド』はご覧になりましたか？ホッケーが大好きな少女ライリーの頭の中では、“感情”たち（ヨロコビ、カナシミ、イカリ、ムカムカ、ビビリ）が司令を出し、彼女の感情を調整しています。父親の仕事の都合で、大好きな田舎から都会へ引っ越したライリーが、新しい生活に慣れていく過程で起こる感情の変化を、“感情”たちの奮闘として描いています。陽の感情「ヨロコビ」と陰の感情「カナシミ」が交わることで、すべての感情が存在することの大切さを教えてくれる作品です。

先月、その続編が公開されました。高校入学を控えたライリーは、高校のホッケーチームのサマーキャンプに特別参加しますが、その初日の朝、突然思春期が始まります。脳内の司令部に新たな“感情”たち（シンパイ、ハズカシ、ダリー、イイナー）が現れ、それまでの“感情”たちは司令部を追い出されます。新しい“感情”たちの登場により、ライリーは他者との違いに気づき、自分を振り返ったり、将来について考えたりするようになります。これは思春期の大切な発達過程ですが、やがてある“感情”が暴走し、大騒動に発展します。

このシリーズは、子どもの心の発達において「本能的な感情を育む」ことの重要性を教えてくれます。そのためには、大人（養育者）の助けが必要です。子どもたちの感情の発露をしっかり受け止め、感情ごとに名前をつけて整理し、安心感を与えることが求められます。感情の育成が不十分だと、感情が高ぶった時にその理由が分からず、その感情を「ムカつく！」の一言にまとめてキレてしまったりします。背後に悲しみや寂しさ、かまってほしいという感情があっても、本人自身も気づけません。このような状態で思春期を迎えると、他者との違いに気づいて傷ついたり、将来への強い不安を感じたりすることが増えてますが、それらは漠然としていて、何が起きているのか、どうすればよいのか分かりません。代わりに攻撃的になったり、内にこもったりするのは無理ありません。幸いライリーの“感情”たちはのびのびと成長し、思春期のピンチを力を合わせて乗り越えます（ネタバレごめん）。大人になった子どもたちにこそ見てほしい作品です。ぜひご覧ください。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

